

教科	国語	学年	第 1 学年
----	----	----	--------

実施 時期	単元名	時 数	単元の到達目標（小単元 のねらい）	単元のまとまりの評価規準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1 学期	言葉に出会うために	10	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。 ● 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。→聞き手を意識して声の強弱、間の取り方、言葉の調子、声の大きさや高さを工夫している。→情景や心情を表す表現に応じて、音読のしかたを工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。→日常生活やこれまでに読んだ本の中から題材を決め、情報を整理して「言葉の手帳」に書き込んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	1 学びをひらく	20	<ul style="list-style-type: none"> ● 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使うことができる。 ● 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、把握することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 ● 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」において、場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 場面の展開や心情の変化などについて、描写を基に積極的に捉え、学習の見通しをもって着目した表現や心情の変化について話し合おうとしている。 ● 音声の働きや仕組みについて進んで理解を深め、小学校での学習を生かして音読しようとしている。
	2 新しい視点で	9	<ul style="list-style-type: none"> ● 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にしたい、思いや考えを伝え合おうとする。 ● 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 集めた材料を粘り強く整理し、学習の見通しをもってわかりやすく説明する文章を書こうとしている。
	3 言葉に立ち止まる	14	<ul style="list-style-type: none"> ● 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 比喩などの表現の技法を理解し使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 進んで比喩について理解し、学習課題に沿って言葉について考えを深めようとしている。

2 学期	4 心の動き	12	<ul style="list-style-type: none"> ●場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかたについて理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、場面と場面、場面と描写などを結び付けて、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈し、学習の見通しをもって考えを伝え合おうとしている。 ●進んで質問しながら話の内容を捉え、学習したことを生かして話を引き出そうとしている。
	5 筋道を立てて	19	<ul style="list-style-type: none"> ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。→適切な根拠や、意見と根拠の結び付きについて理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「書くこと」において、根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●根拠を明確に示すことを粘り強く考え、学習の見通しをもってレポートを作成しようとしている。
	6 いにしへの心にふれる	15	<ul style="list-style-type: none"> ●音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しむことができ 	<ul style="list-style-type: none"> ●古典にはさまざまな種類の作品があることを知っている。●音読に必要な文語のきまりや訓読のしかたを知り、古文を音読し、古典特有のリズムを通して、古典の世界に親しんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●進んで古文を音読し、今までの学習を生かして描かれている古典の世界を想像しようとしている。
	7 価値を見いだす	13	<ul style="list-style-type: none"> ●目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈することができる。 ●説明の文章を読み、理解したことや考えたことを報告したり文章にまとめたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解している。 ●比較や分類、関係づけなどの情報の整理のしかた、引用のしかたや出典の示し方について理解を深め、それらを使っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●必要な情報に着目して、粘り強く要約し、試行錯誤しながら自分の考えを文章にまとめようとしている。
3 学期	8 自分を見つめる	8	<ul style="list-style-type: none"> ●言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事象や行為、心情を表す語句の量を増すとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●文章の構成や展開、表現の効果について積極的に考え、学習の見通しをもって別の人物の視点から文章を書き換えようとしている。